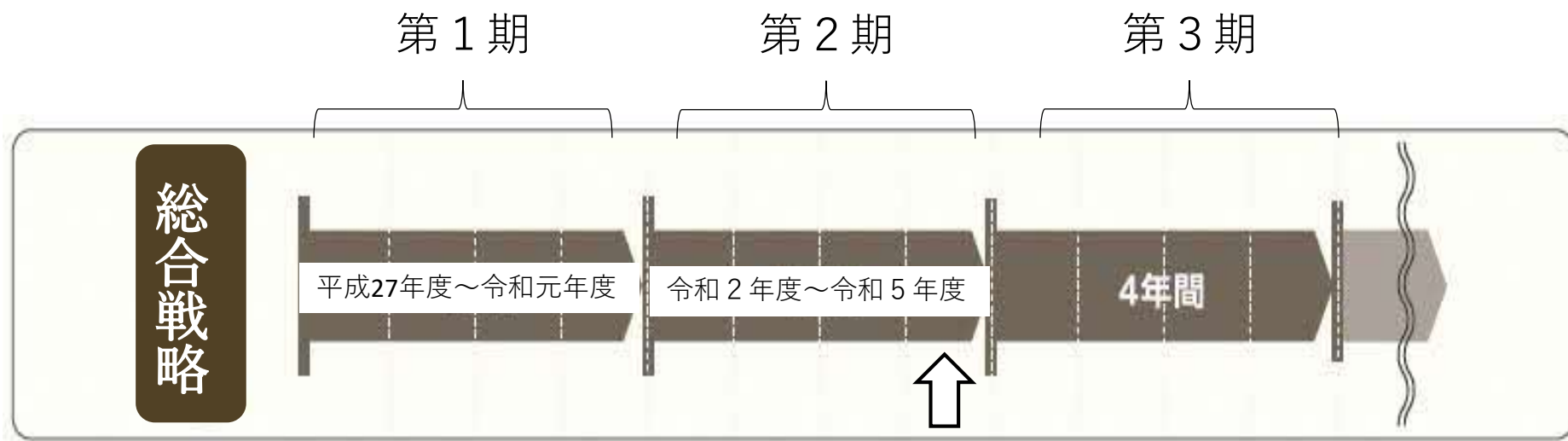


## 新たな総合戦略の策定の考え方について

## 枚方市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

本市では、「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、人口減少への対応を図るため、本市の人口の現状や将来展望を示した「人口ビジョン」と、ビジョンで示す将来展望を踏まえ、集中的に行っていく施策をまとめた「総合戦略」で構成する「枚方市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下「総合戦略」）を策定し、取り組みを進めてきた。

現在推進している第2期総合戦略の計画期間は、令和2年度から令和5年度となっている。



## 第2期総合戦略の基本的な考え方

本市の実情に応じた4か年（令和2年度（2020年度）から令和5年度（2024年度）までの4年間）の目標や施策の基本的方向、具体的な施策を以下のとおり構成し、取り組みを進めていくものとします。

### （1）総合戦略の構成について

#### ①政策指標

市民が住み続けたい、市外の人に住みたいと思える魅力的なまちをめざす観点から、本市への定住意向や住みよさの向上を政策指標として設定します。

#### ②基本目標

①で定める政策指標の達成に向け、国や大阪府の総合戦略の政策分野を勘案しながら、人口減少に対応するための効果的な取り組みを集中的に実施していく観点から、一定のまとまりの政策分野ごとに基本目標を定めるとともに、基本目標の実現に向けた主観的成果指標を設定します。

※枚方市まち・ひと・しごと創生総合戦略（第2期 令和2年度～令和5年度）より抜粋

## 国の総合戦略の改定

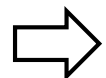
- 令和4年12月に、まち・ひと・しごと創生総合戦略を抜本的に改訂し、2023年度から2027年度までの5か年の新たな総合戦略を策定。デジタル田園都市国家構想基本方針で定めた取組の方向性に沿って、各府省庁の施策の充実・具体化を図るとともに、KPIとロードマップ（工程表）を位置付け。
- テレワークの普及や地方移住への関心の高まりなど、社会情勢がこれまでとは大きく変化している中、今こそデジタルの力を活用して地方創生を加速化・深化し、「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指す。
- 地方は、地域それぞれが抱える社会課題等を踏まえ、地域の個性や魅力を生かした地域ビジョンを再構築し、地方版総合戦略を改訂。

※デジタル田園都市国家構想実現会議「デジタル田園都市国家構想総合戦略の全体像」より抜粋



これまでの地方の社会課題解決や魅力向上の取り組みをデジタルの力を活用し、継承・発展させていくことが求められていることから、新たな計画期間の総合戦略を策定し、取り組みを進めていく必要がある。

## 今後のスケジュール（予定）



7月31日	第1回意見聴取会：策定の考え方の提示
10月	第2回意見聴取会：総合戦略（骨子）の提示
11月	総合戦略（骨子）の議会報告
1月	第3回意見聴取会：総合戦略（素案）の提示
2月	総合戦略（案）の議会報告、 パブリックコメントの実施
3月	総合戦略策定